

代表質問

市長の施政方針

【四つの重点テーマ】

- ▼命を守る
- ▼子どもの笑顔を未来につなぐ
- ▼誰もが輝くまちをみんなで創る
- ▼価値を高め、次世代に継承する

2月25日、中原市長の施政方針に対し、各党派

の代表者6名が代表質問を行いました。

主な質問と答弁の内容は次のとおりです。



公明党
吉川市議員
五十嵐恵千子

問 市民の暮らし最優先に幸福実感の向上が一層求められる年度になるが、国の当初予算が成立しない場合の対処と共動によるまちづくりは。

答 国において暫定予算が組まれるので行政機能が直ちに停止することはない。市民・行政の協働の理念の

もと、しっかりと市政運営をしていく。

問 吉川美南駅東口・三輪野江地域の新たな魅力創出と発展への展望は。

答 其々の計画理念が違っているの

で、其々の経過に沿って事業を進めて行くことが重要であると思うが、今後農業パークがある程度見えてくれば、様々な形で連携がされてくるのではないかと思うので、ソフト面での融合に力を入れながら、吉川市の産業振興条例が掲げる「農商工一体の産業振興」を図っていききたい。



日本共産党
吉川市議員
遠藤 義法

問 市民生活は物価高騰で厳しさを増している。吉川市独自に継続的な支援を行う考えはないか。

答 均衡や公平性などの観点から国が責任を持って対応すべき。それもばらまき型ではなく、政策をしっかりと持ち実施していただきたい。

問 児童生徒の体力・視力の低下、不登校の増加、自死の多さなどの状況から根本的な対策が求められるが。

答 一番大事なのは子ども、保護者とともに先に進む力が得られること。吉川市子ども計画に沿って政策と教育を進め、子どもたちの幸福実感、自己肯定感をあげていきたい。

問 吉川美南駅東口に建設計画のデータセンターの環境対策は充分か。

答 事業所は環境配慮を認識されており、言っべきことは主張していく。